

学外発表学術論文及び国際会議発表論文，著者一覧表 (vol. B)

太字 学内者

学術論文**文学 (Literature)**

難波三郎：太平洋地域における食の比較文化的考察，比較生活文化学会学会誌 **第 1 号**，25-30 (1988).

難波三郎：太平洋多島海の人びと (一)，太平洋学会誌 **第 38 号 (第 11 卷第 1 号)**，38-42 (1988).

難波三郎：太平洋多島海の人びと (二)，太平洋学会誌 **第 39 号 (第 11 卷第 2 号)**，7-13 (1988).

人文科学 (Human Sciences)

小山悦司：「教師の自己教育力」，岸本幸次郎編著『自己教育力を育てる学校経営』岸本幸次郎先生退官記念事業会出版，1988，pp. 88-99.

岡山理科大学紀要投稿規定

(投稿資格者)

第1条 岡山理科大学（以下「本大学」という）紀要への投稿有資格者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本大学の常勤の教員，職員。
- (2) 本大学院博士課程に在籍中の学生，又は在籍したことのある者。
- (3) 本大学院修士課程，及び本大学研究員として在籍中，又は在籍したことのある者。

(投稿内容)

第2条 投稿内容は次のとおりとする。

- (1) 他誌に未掲載の学術論文（以下「原論文」という）。
- (2) 博士論文要旨。
- (3) 学外発表論文題目の一覧。
- (4) 本大学教職員が中心となって開催した全国的，又は国際的規模の学術研究会要項一覧。但し，全国的規模の学術研究会とは，学会の中四国支部会程度以上のものが開催，後援，協賛などを行うものを意味する。

(著者等)

第3条 原論文の投稿は，代表著者（筆頭著者）1人につき，原則として年1編とする。

共著の場合，代表者は有資格者とし，他に無資格者を含んでもよい。但し著者の身分を明記する。修士課程に在籍中の学生，または在籍したことのある者，および研究員は指導教員との連名のもとで，筆頭著者となることができる。

(発刊)

第4条 紀要の発刊は，原則として年1回とし，A 自然科学，B 人文・社会科学の2分冊とする。

(投稿申込)

第5条 原論文を投稿しようとする者は，論文題目と掲載を希望するA・B分冊のいずれかを指定して，7月末日までに紀要委員会に申し込むものとする。

2 前項の申し込み者は，原稿締切日9月30日までに原稿を紀要委員会に提出する。

(論文の受理)

第6条 紀要委員会は，投稿された論文についての採否を決定し，その日をもって受理日とする。

(原稿の作成)

第7条 原稿の作成上留意事項は，次のとおりとする。

- (1) 原稿のスタイルは「紀要原稿作成要領」に従う。

- (2) 提出論文は、原則として英語、独語、仏語などの主要外国語のいずれかによる表題、著者名の主要外国語のいずれかによる表題、著者名および150字以内の摘要をつける。但し、外国語で書かれたものは、その必要はない。
- (3) 掲載論文は原則として、1編刷り上り10ページ以内とする。
- (4) 原稿は原則として、所定の用紙に清書する。但し、欧主原稿の場合は、タイプライター又はワードプロセッサを使用する。
- (5) 原稿はコピーでなく、原文とする。

(校 正)

第8条 1. 校正は速やかに行うこととし、内容および図などの変更、追加は原則として認めない。

2. 印刷業者との連絡を必要とする場合は、紀要委員会を通じて行うものとする。

(刷り上がり)

第9条 1. 別刷りは、論文ごとに30部を無料配布とし、増冊分の費用は、申し込み者負担とする。

2. 希望増冊部数は、紀要委員会に申し込むものとする。

(昭和63年7月 教授会承認)

紀要委員会委員

職名	氏名	所属
委員長	若村国夫	基礎理学科
副委員長	太田垣博一	電子理学科, 電子工学科
〃	桐榮恭二	教養部, 自然系
委員	吉田憲一	大学院, 応用数学科
〃	重富康正	化学科
〃	藤井勝彦	応用物理学科
〃	加藤次郎	生物化学科
〃	竹田邦雄	応用化学科
〃	藤田志郎	機械理学科, 機械工学科
〃	中島聰	教養部, 人文・社会系
〃	高池久隆	保体・語学系
〃	山田省一	教職・学芸員課程

岡山理科大学紀要 B (人文・社会科学)

昭和63年10月10日編集

平成元年3月1日印刷

平成元年3月20日発行

発行者 加計 勉
岡山理科大学紀要委員会
(代表者 若村 国夫)

発行所 岡 山 理 科 大 学
〒700 岡山市理大町1-1
電 話 0862-52-3161(代)

印刷所 西尾総合印刷株式会社
〒701-11 岡山市津高651
電 話 0862-54-1111(代)